ウェアラブル RFID リーダ

TECCO TC-A01

デモソフトウェア

操作マニュアル

Ver.1.0.1

2012 年 4 月



株式会社ゴビ

目次

1. はじめに

TECCO デモソフトウェア（以降、単に TECCO デモ）は、ウェアラブル RFID リーダ TECCO TC-A01（以降、単に TC-A01）に付属のデモ用ソフトウェアです。TECCO デモでは、以下のことができます。

- インストールするだけで、すぐに TC-A01 の評価を行うことができます。
- TC-A01 で読取ったタグデータがすぐに確認できます。
- 動作設定の変更など TC-A01 に用意されている全てのコマンド群を GUI から試すことができます。
- TC-A01 は電源を切っても設定内容を保持しているので、動作設定を変更するためのツールとしても使用できます。

なお、TC-A01 のご使用にあたっては、「TC-A01 取扱説明書」をよくお読みになり、内容をご理解のうえ、正しくご使用ください。

2. インストール

1. インストーラフォルダ内にある「setup.exe」を実行します。
2. ウィザードに従ってインストールします。

✧ 動作環境

- OS：Windows XP Service Pack3、Vista、7
- Bluetooth デバイス：Bluetooth Ver 2.1 以上

✧ 本ドキュメントでは、Windows XP をもとに説明をしますが、基本的には Windows Vista、7 でも同じ手順となります。

3. 起動と終了

3.1. 起動方法

1. TC-A01 の電源を入れ、使用するホスト PC に接続します。
   予め、Bluetooth デバイスのドライバをインストール、TC-A01 の接続先ホスト端末の登録は実施しておいてください。ホスト登録の方法は「TC-A01 取扱説明書」や「TC-A01 Bluetooth 接続手順書」等を参照ください。
2. デスクトップにできた「Tecco デモ」を実行します。



3. 図 1 の画面が表示されます。右上の接続先プルダウンから TC-A01 が接続している COM ポート番号を選択し、接続ボタンを押します。

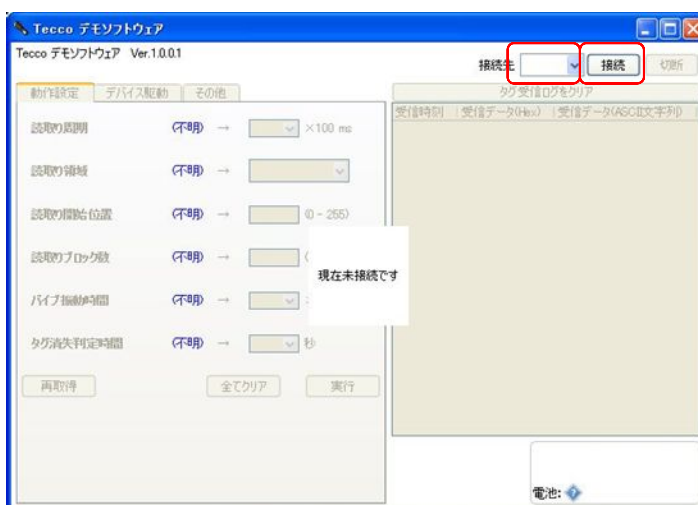


図 1：COM ポートへの接続

4. 数秒後、図 2 のように現在の各設定値と TC-A01 のデバイス情報が取得されれば、使用準備完了です。

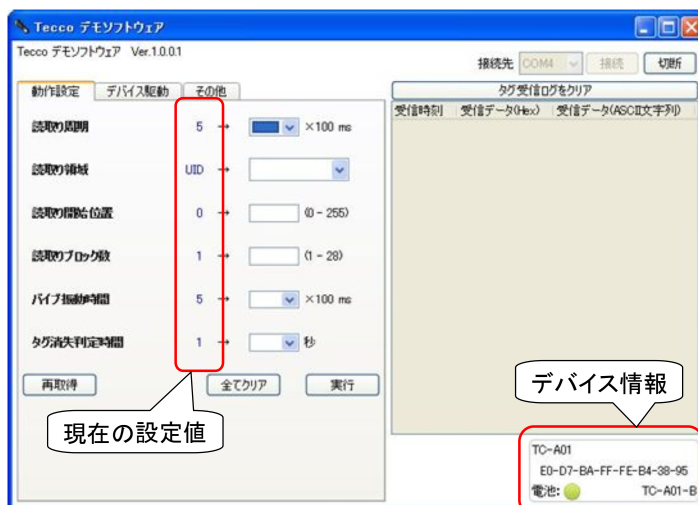


図 2：準備完了

3.2. 終了方法

1. 図 3の切断ボタンを押します。
2. 右上の×ボタンを押して、「TECCO デモ」を終了します。



図 3：切断方法

4. 画面構成

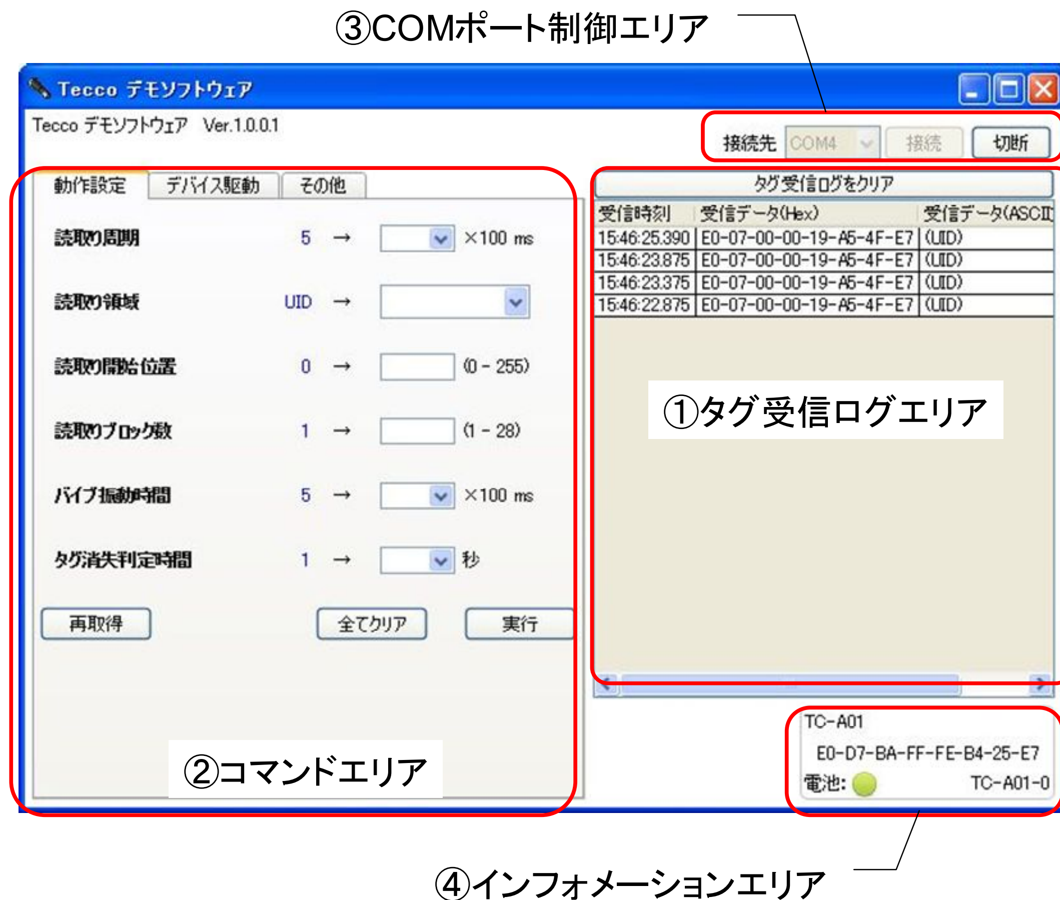


図 4：画面構成

①タグ受信ログエリア	TC-A01が読取ったタグのデータを表示します。
②コマンドエリア	TC-A01にコマンドを送信することができます。
③COMポート制御エリア	COMポートの接続・切断ができます。
④インフォメーションエリア	TC-A01のデバイス情報を表示します。 ハードウェア名、Bluetoothデバイスアドレス、ファームウェアバージョンの順に表示されます。

5. 操作方法

5.1. タグを表示させる

「3.1 起動方法」の手順に従って使用準備を完了した後に TC-A01 にタグをかざすと、図 4 のタグ受信ログエリアのように読取られたタグのデータが表示されます。読取りデータの内容や読取り動作については、動作設定コマンドにより変更することが可能です。

表示されているログは上部の「タグ受信ログをクリア」ボタンを押すことでクリアできます。

5.2. コマンドを送信する

- 動作設定コマンド（動作設定タブ）

  図 5 の各動作設定項目に設定値を入力し実行ボタンを押すことで、TC-A01 の動作設定を変更することができます。ここで変更された動作設定は、TC-A01 の電源を切っても保持されます。各設定項目の意味は表 1 の通りです。それぞれの詳細については、「TC-A01　コマンド仕様書」をご覧ください。

図 5：動作設定タブ

表 1：動作設定項目の説明

読取り周期	タグ読取りの実行周期。読取り周期ごとに設定可能な読取りブロック数の上限が異なります。詳しくは、読取りブロック数、もしくは「TC-A01 コマンド仕様書」をご覧ください。
読取り領域	タグからデータを読取る領域をUID（Unique ID）領域とUserData領域から選択できます。
読取り開始位置	タグのUserData読取り開始ブロック位置を指定します。読取り領域設定がUserData読取りモードの時にのみ有効で、それ以外のときは無視されます。
読取りブロック数	タグのUserData読取りブロック数を指定します。読取り領域設定がUserData読取りモードの時にのみ有効で、それ以外のときは無視されます。読取り周期ごとに設定可能な読取りブロック数の上限が異なります。
バイブ振動時間	タグ読取り時のバイブの振動時間。0は読取り時のバイブ振動OFFを意味します。 本設定値を読取り周期以上に設定することは動作保証外です。読取り周期以上の時間を設定した場合で、かつタグ消失判定時間の設定値が0の場合は、タグ読取り中はバイブが振動し続けることになります。
タグ消失判定時間	タグが読取り可能領域から消失した（連続読取り状態が途切れた）と判定するまでの時間。詳しくは、「TC-A01 コマンド仕様書 7.1.1.1. タグ消失判定時間とバイブの動作について」をご覧ください。

（読取りブロック数の上限）

読取り周期	設定上限
100ミリ秒	10ブロック（0x0A）
200 ミリ秒以上	28ブロック（0x1C）

- デバイス駆動コマンド（「デバイス駆動」タブ）

  バイブと LED（橙）を指定したパターンで駆動することができます。駆動したいデバイスにチェックを入れ、駆動時間、停止時間、駆動回数を入力して「実行」ボタンを押すと、デバイスが動作します。

図 6：デバイス駆動タブ

- RF ON／OFF コマンド（「その他」タブ）

  RFID タグ読取りのための電波を ON／OFF することができます。

図 7：その他タブ

- 初期化コマンド（「その他」タブ）

  動作設定コマンドで変更可能な各設定個目を工場出荷時状態に初期化します。尚、初期化設定は表 2 の通りです。

表 2：工場出荷時設定

項目名	説明
タグ読取り周期	500 ミリ秒
読取り領域	UID 読取りモード
タグ読取り開始位置	0 ブロック目
タグ読取りブロック数	1 ブロック
バイブ振動時間	500 ミリ秒
タグ消失判定時間	1 秒

6. アンインストール法

「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」より、「TECCO デモソフトウェア」を選択し、削除してください。

株式会社ゴビ

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地 京都リサーチパーク内
TEL:075-315-3693
（土・日・祝日、長期休暇を除く 9:00～17:00）
FAX:075-315-3653
E-mail:tecco@go-v.co.jp
ホームページ:http://www.go-v.co.jp/tecco/